

- ③ えんちようせんせい、おにになるんやろ。
④ そうや。まめまきの おに、えんちようせんせいやんな。
⑤ そうかあ？ ほら、つのはえてないで！

子どもたち じーっと 私の頭を見てから……

- ⑥ まめまきのときになると、つのはえてくるんやで！！

年長の子どもたちとの やりとりです。

また、2-3ヶ月前に2階の職員室にあがってきた子が、私の坐るイスの背もたれに子どもたちもよく知っている「カメ」のイサの箱が何箱か袋に入れて掛かっているのを見て……、びっくりした表情を浮かべ、そして真剣な顔つきで尋ねてきました。「えんちようせんせいは かめの えさ たべてるの ???」

この子も 年長の子でした。

ずいぶん目覚めてきて、いろいろなことが分かっていて、的を得た言い回しができたり、皆で相談をして物事を決めていけるような子どもたちが、同時にまた、夢の中を生きているのに 出会うと、とても とても うれしくなります。

実際 愛らしく 微笑ましく、周囲の人たちを和ませてくれるのですが、さらに目覚めながら 夢見がちでいられる魂に、人としてのゆたかさや 可能性を感じる ことができるのです。

私たちは 幼い あどけない時から 毎日 様々な体験をし、世の中で活動し、いろいろなことを身につけたり 見きわめられるようになっていきます。

そして、時代と共に 科学や技術が発達し、多くの発見や発明がなされ、世界の諸々や宇宙の不思議が 解き明かされていきます。

そんな 目覚めの時代の中で、私を、私たちを、時代意識を見つめ返してみます。

ものごとを明るく照らし出したり、他者への理解、社会的正義感や判断……など、人の様々な「目覚め」の営みが、冷たく 固く 拘り定規なものにならないように、同時に 無垢で、ファンジーにあふれ、共感に満ちた……「夢見がち」な心が 目覚めに生きいきと寄り添うことができますように！

大きくなった発表会に向けて お話を存分にあそぶ子どもたちの世界が、それぞれらしい目覚めと あふれる夢によって 作られようとしています。

当日も 集うすべての人々で、そのような瞬間——を、つむぎ体験できればと 思っています。

園長 升光 泰雄

通信「71」号がふたつになり「72号がなくなっていました。
ふたつめ(28日発行分)を「72」号に変身させて下さい。お手数をおかけします。